



平成26年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月15日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サイゼリヤ
コード番号 7581 URL <http://www.saizeriya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀埜 一成
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長兼財務部長 (氏名) 潮田 淳史
定時株主総会開催予定日 平成26年11月27日 配当支払開始予定日
有価証券報告書提出予定日 平成26年11月28日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

TEL 048-991-9611
平成26年11月28日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年8月期の連結業績(平成25年9月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期	125,618	13.8	5,488	△27.3	5,917	△30.0	1,193	△69.7
25年8月期	110,428	5.9	7,547	△23.6	8,450	△19.7	3,937	△28.0

(注) 包括利益 26年8月期 2,414百万円 (△53.9%) 25年8月期 5,243百万円 (△3.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
26年8月期	23.65	—	1.8	6.8	4.4
25年8月期	78.06	—	6.1	10.1	6.8

(参考) 持分法投資損益 26年8月期 一百万円 25年8月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年8月期	87,224	68,643	78.5	1,356.65
25年8月期	87,472	67,344	76.8	1,331.86

(参考) 自己資本 26年8月期 68,437百万円 25年8月期 67,187百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
26年8月期	10,465	△7,143	△4,923	17,921
25年8月期	7,337	△11,213	1,683	17,908

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
25年8月期	—	—	—	18.00	18.00	908	23.1	1.4
26年8月期	—	—	—	18.00	18.00	908	76.1	1.3
27年8月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00	—	—	—

3. 平成27年 8月期の連結業績予想(平成26年 9月 1日～平成27年 8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	64,200	8.4	2,200	51.3	2,300	37.5	1,000	662.4	19.82
通期	135,500	7.9	7,100	29.4	7,400	25.1	3,200	168.2	63.43

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 2社 (社名) 北京薩莉亞餐飲管理有限公司、除外 1社 (社名)
 Taiwan saizeriya,.Ltd

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

26年8月期	52,272,342 株	25年8月期	52,272,342 株
26年8月期	1,826,574 株	25年8月期	1,825,928 株
26年8月期	50,446,158 株	25年8月期	50,446,720 株

(参考) 個別業績の概要

1. 平成26年8月期の個別業績(平成25年9月1日～平成26年8月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期	105,049	2.7	3,849	△45.3	4,092	△47.2	134	△96.1
25年8月期	102,263	3.9	7,040	△25.3	7,756	△21.6	3,450	△31.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
26年8月期	2.67	—
25年8月期	68.41	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
26年8月期	78,344		62,128		79.0		1,227.51	
25年8月期	81,874		62,832		76.6		1,242.41	

(参考) 自己資本 26年8月期 61,922百万円 25年8月期 62,675百万円

2. 平成27年 8月期の個別業績予想(平成26年 9月 1日～平成27年 8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	51,000	2.1	1,100	19.7	100	△118.1	1.98
通期	107,000	1.9	4,600	12.4	1,100	716.9	21.81

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	2
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 企業集団の状況	4
3. 経営方針	4
4. 連結財務諸表	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	14
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
5. 個別財務諸表	18
(1) 貸借対照表	18
(2) 損益計算書	20
(3) 株主資本等変動計算書	21
(4) 個別財務諸表に関する注記事項	23
(継続企業の前提に関する注記)	23
6. その他	23

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

(当期の経営成績)

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の金融・財政政策の効果により、企業収益の改善の動きが見られるなど緩やかに回復いたしました。更なる消費税増税の議論が本格化するなど、先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、円安や天候不順等による食材価格の高騰やエネルギー価格の高騰、人材不足による人件費の高騰等、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、工場の生産技術による品質の向上、メニューの改善、店舗サービスの強化、社内教育の強化、国内外における継続的な新規出店等、さらなる収益力の向上に取り組んでまいりました。

これらの取り組みの結果、日本、海外ともに過去最高の売上高となり、当連結会計年度の売上高は1,256億18百万円(前期比13.8%増)、営業利益は54億88百万円(前期比27.3%減)、経常利益は59億17百万円(前期比30.0%減)となりました。また、当期純利益につきましては、減損損失が増加したことなどから特別損失が17億92百万円増加し、11億93百万円(前期比69.7%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

「日本」は、新規出店や商品力の強化などにより、売上高1,050億49百万円、営業利益は38億49百万円となりました。

「豪州」は、当社で使用する食材の製造等を行っており、当社の売上高の推移に伴い、売上高44億20百万円、営業利益は1億66百万円となりました。

「アジア」は、新規出店による新規顧客の獲得や知名度の浸透に努めました。売上高204億73百万円、営業利益は15億円となりました。

次期の見通しにつきましては、緩やかな景気回復が継続すると期待されますが、雇用情勢や、来秋の消費税率引き上げの動向およびその影響など、不透明な状況が継続されるものと予想されます。従いまして、当社といたしましては、連結会計年度の業績予想は、売上高1,355億円、営業利益71億円、経常利益74億円、当期純利益32億円を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度の総資産は872億24百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億48百万円の減少となりました。主な要因は、建物及び構築物の増加7億7百万円や敷金及び保証金の増加6億81百万円、新規連結に伴い、子会社株式が減少したことによる投資有価証券の減少17億91百万円などです。

負債合計は185億81百万円となり、前連結会計年度末と比較して15億46百万円の減少となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金の減少19億35百万円などです。

純資産合計は686億43百万円となり、前連結会計年度末と比較して12億98百万円の増加となりました。この結果、自己資本比率は78.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して12百万円増加し、179億21百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、104億65百万円(前期比31億28百万円の増加)となりました。これは、主に税金等調整前当期純利益26億69百万円、減価償却費59億96百万円、減損損失29億70百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、71億43百万円(前期比40億69百万円の減少)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出67億81百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、49億23百万円(前期は16億83百万円の獲得)となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出40億13百万円、配当金の支払額9億8百万円等によるものであります。

(キャッシュ・フロー関連指標の推移)

	平成25年8月期	平成26年8月期
自己資本比率(%)	76.8	78.5
時価ベースの自己資本比率(%)	74.3	82.2
債務償還年数(年)	0.9	0.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	623.3	923.0

(注) 自己資本比率(%)：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率(%)：株式時価総額／総資産

債務償還年数(年)：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数(自己株式数を控除)により算出しております。営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

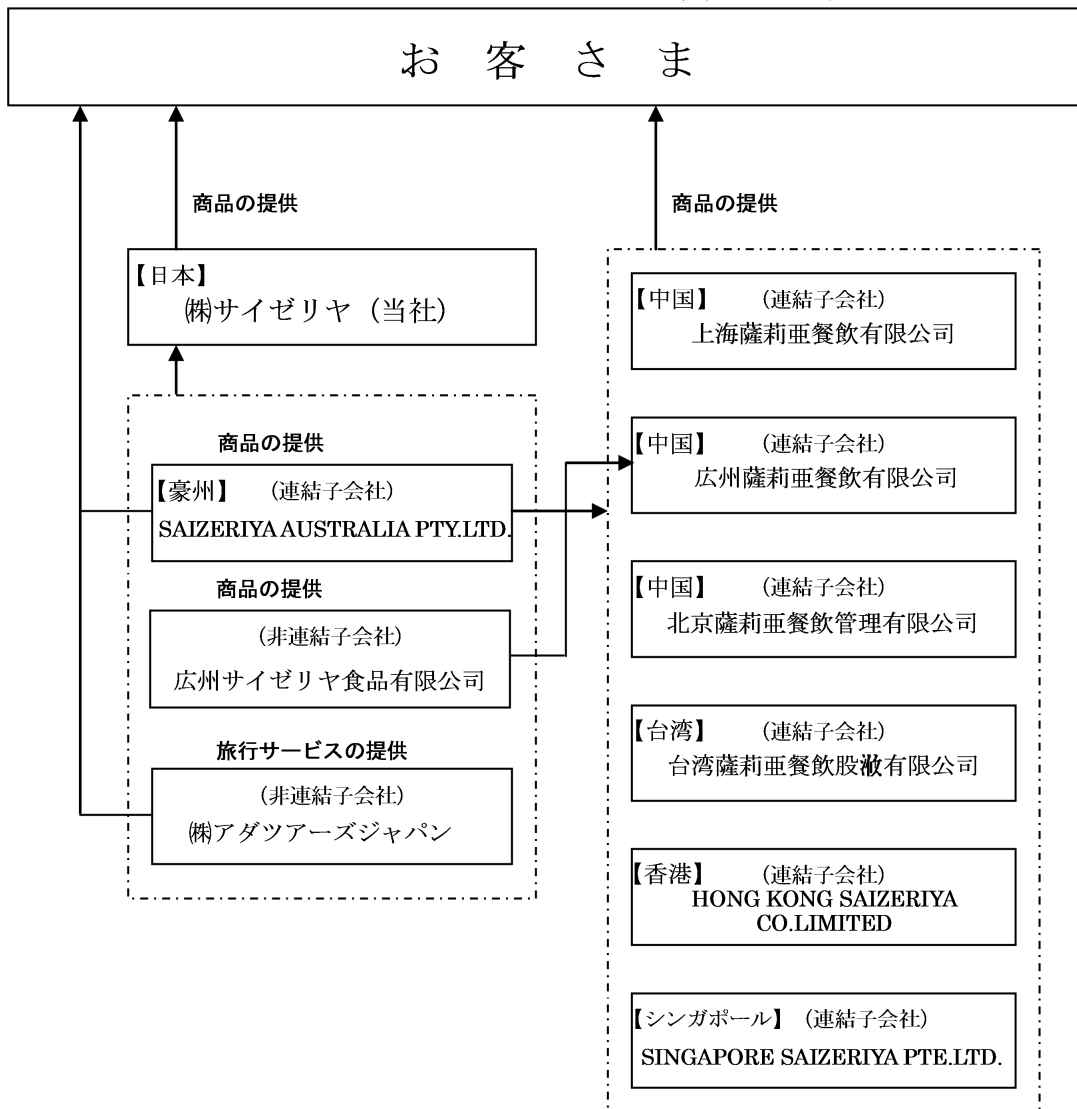
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主並びに一般投資家保護の基本原則を十分認識し、経営基盤の確保とROE(株主資本利益率)の向上を念頭に置いて、安定的な配当を基本とし、業績に応じて株主還元を積極的に行うことを基本方針としております。

また、内部留保資金は、新たな成長につながる店舗および自社工場などの設備投資に充当していく所存であります。なお、当期並びに次期の配当は、前期と同様に、1株当たり期末配当18円の配当を予定しております。

2. 企業集団の状況

当社グループは、当社(株式会社サイゼリヤ)及び子会社9社で構成され、外食事業を基幹事業としております。当社グループの事業内容及び当社と関係会社の当該事業に係る位置付け等は、次のとおりであります。



3. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

①サイゼリヤのビジネスに関わるすべての人が幸せになること

サイゼリヤは1店のイタリアレストランとして始まり、数十年かけてナショナルチェーンとなるまで歩んできました。このレストランビジネスの目的は、食を通じてお客様を喜ばせること。そして、そのビジネスを通じてすべての人が幸せになること。お客様・従業員・取引先・関係者、そのどれかにしわ寄せが行くビジネスは健全ではない、と私たちは考えます。

お客様にはおいしくてリーズナブルな料理を。従業員には生涯設計のできる賃金と生きがい。取引先には公正かつ公平な取引を。関係者には正確で誠実な対応を。サイゼリヤ行動指針「人のため・正しく・仲良く」に則り、ビジネスを通じ社会に貢献していきます。

②外食産業・農業に「技術」導入で真の産業化を目指す

サイゼリヤは製造直販業として、計画生産と技術化により外食産業と農業を産業化することが自らの使命であると考えています。真の産業化とは、他産業並みに外食業や農業に従事する人々が生涯設計のできるだけの賃金が支払える生産性を確保できるようになることを指します。そもそも料理や農業の世界ではセンスや経験から培った勘といった属人的な技能に依存していたために、継続や継承が難しいと言われて、産業化が進んでいませんでした。

属人的な技能・技術を、だれでもその通り教われれば、その通りにできるようになるようにしたものとして置

き換え、継続・継承が可能なものにしていく。加えて、より合理的な考え方により、ムダを省き、新しい技術を導入し、生産性を高めてゆく。従事する人々の意識変革を行い、作業のやり方を変え、生産性を向上させていく。計画生産ができる製造直販業だからこそ、農業と外食業を同時に産業化へと推進させていくことができる、と私たちは信じ、産業化という壮大なビジョンを掲げて本気で目指していきます。

③海外のサイゼリヤ「現地のための、現地人による、現地の会社」

サイゼリヤは2003年6月上海に海外初出店をして以来、中国東南アジアを中心に展開しています。これら海外へ展開する理由は、経営理念に基づくものです。貧富の格差が激しく、イタリア料理というジャンルを富裕層のみが占有していた状況において、私たちサイゼリヤが一般大衆が気軽に入れる価格帯のイタリア料理店を出すことにより、現地の多くの人に食の豊かさを愉しんでいただきたい、と考えたからです。そして日本と同様、外食業が産業として立ち遅れる各国において、日本で培った店舗運営と経営のノウハウを現地に移出し、現地の従業員を幸せにできる会社を育てる。現地のお客様のための、現地従業員による、現地の会社を作り上げることにより、海外においても社会貢献を進めていきたいと考えています。

(2) 目標とする経営指標

- ①店舗及び工場等への投資利回り (ROI) は、年率20%以上を目指します。
- ②総資本経常利益率 (ROA) は、10%以上を目指します。

(3) 中長期的な会社の経営戦略

当社の中長期的経営戦略目標は、以下のとおりであります。

- ①国内レストラン事業の利益体質強化
- ②海外事業のビジネスモデル確立
- ③国内事業の第2の柱となる新事業開発
- ④人的資産への投資を継続
- ⑤研究開発導入による「食堂業の産業化」の推進

(4) 会社の対処すべき課題

現在、以下の項目を対処すべき課題と考えております。

- ①設備の改善による投資削減
- ②工場への新製法、新技術の導入による商品価値向上
- ③店内環境・サービスの改善による顧客満足度の向上
- ④海外事業での商品の安全安定供給体制の確立
- ⑤海外事業の事業基盤の強化
- ⑥新事業による潜在的ニーズの提供
- ⑦人材育成の体制強化
- ⑧研究開発による新たな価値の提案

4. 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当連結会計年度 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,988	18,134
テナント未収入金	1,254	1,410
商品及び製品	4,666	5,137
原材料及び貯蔵品	849	985
繰延税金資産	613	524
その他	2,644	2,783
流動資産合計	28,016	28,975
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,038	26,746
機械装置及び運搬具(純額)	3,563	3,229
工具、器具及び備品(純額)	4,542	4,575
土地	6,954	6,975
リース資産(純額)	141	132
建設仮勘定	842	397
有形固定資産合計	42,082	42,055
無形固定資産		
投資その他の資産	605	472
投資その他の資産		
投資有価証券	2,617	825
敷金及び保証金	8,730	9,411
建設協力金	2,174	1,718
繰延税金資産	1,062	1,696
その他	2,200	2,083
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	16,768	15,720
固定資産合計	59,456	58,249
資産合計	87,472	87,224

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当連結会計年度 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,426	5,021
1年内返済予定の長期借入金	4,013	2,078
リース債務	8	8
未払法人税等	1,224	561
賞与引当金	1,081	1,158
株主優待引当金	227	208
資産除去債務	21	10
デリバティブ負債	71	13
その他	4,224	6,097
流動負債合計	15,298	15,158
固定負債		
長期借入金	2,078	-
リース債務	139	131
繰延税金負債	-	32
資産除去債務	2,563	2,871
その他	46	387
固定負債合計	4,829	3,422
負債合計	20,127	18,581
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,612	8,612
資本剰余金	9,007	9,007
利益剰余金	49,481	49,510
自己株式	△2,211	△2,212
株主資本合計	64,889	64,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△35	△13
為替換算調整勘定	2,333	3,533
その他の包括利益累計額合計	2,298	3,519
新株予約権	157	205
純資産合計	67,344	68,643
負債純資産合計	87,472	87,224

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成24年9月1日 至 平成25年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年9月1日 至 平成26年8月31日)
売上高	110,428	125,618
売上原価	38,250	46,214
売上総利益	72,178	79,403
販売費及び一般管理費	64,630	73,914
営業利益	7,547	5,488
営業外収益		
受取利息	207	227
為替差益	640	-
補助金収入	19	115
デリバティブ評価益	-	57
その他	71	64
営業外収益合計	938	464
営業外費用		
支払利息	11	11
為替差損	-	15
デリバティブ評価損	20	-
その他	4	9
営業外費用合計	36	36
経常利益	8,450	5,917
特別利益		
補償金収入	64	-
特別利益合計	64	-
特別損失		
減損損失	664	2,970
固定資産除却損	139	218
関係会社株式評価損	540	-
店舗閉店損失	110	59
特別損失合計	1,455	3,247
税金等調整前当期純利益	7,059	2,669
法人税、住民税及び事業税	3,277	2,178
法人税等調整額	△156	△702
法人税等合計	3,121	1,476
少数株主損益調整前当期純利益	3,937	1,193
当期純利益	3,937	1,193

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 平成24年9月1日 至 平成25年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年9月1日 至 平成26年8月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	3,937	1,193
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25	21
為替換算調整勘定	1,280	1,200
その他の包括利益合計	1,305	1,221
包括利益	5,243	2,414
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	5,243	2,414
少数株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成24年9月1日 至 平成25年8月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,612	9,007	46,451	△2,211	61,860
当期変動額					
剰余金の配当			△908		△908
当期純利益			3,937		3,937
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	3,029	△0	3,029
当期末残高	8,612	9,007	49,481	△2,211	64,889

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△61	1,053	992	115	62,968
当期変動額					
剰余金の配当					△908
当期純利益					3,937
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	25	1,280	1,305	41	1,347
当期変動額合計	25	1,280	1,305	41	4,376
当期末残高	△35	2,333	2,298	157	67,344

当連結会計年度(自平成25年9月1日至平成26年8月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,612	9,007	49,481	△2,211	64,889
当期変動額					
子会社の新規連結による剰余金増加高			△256		△256
剰余金の配当			△908		△908
当期純利益			1,193		1,193
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	28	△0	28
当期末残高	8,612	9,007	49,510	△2,212	64,917

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△35	2,333	2,298	157	67,344
当期変動額					
子会社の新規連結による剰余金増加高					△256
剰余金の配当					△908
当期純利益					1,193
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	21	1,200	1,221	48	1,270
当期変動額合計	21	1,200	1,221	48	1,298
当期末残高	△13	3,533	3,519	205	68,643

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成24年9月1日 至 平成25年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年9月1日 至 平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	7,059	2,669
減価償却費	4,974	5,996
貸倒引当金の増減額(△は減少)	12	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△127	44
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△11	△19
受取利息及び受取配当金	△207	△227
支払利息	11	11
為替差損益(△は益)	△635	2
デリバティブ評価損益(△は益)	20	△57
固定資産除却損	139	218
関係会社株式評価損	540	-
店舗閉店損失	110	59
減損損失	664	2,970
補償金収入	△64	-
テナント未収入金の増減額(△は増加)	△332	△156
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,382	△398
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△236	91
買掛金の増減額(△は減少)	510	350
その他の流動負債の増減額(△は減少)	30	1,400
その他	△11	202
小計	11,065	13,157
利息及び配当金の受取額	143	161
利息の支払額	△11	△11
法人税等の支払額	△3,859	△2,842
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,337	10,465
投資活動によるキャッシュ・フロー		
非連結子会社株式の取得による支出	△417	-
定期預金の預入による支出	△70	△412
定期預金の払戻による収入	-	280
有形固定資産の取得による支出	△10,709	△6,781
無形固定資産の取得による支出	△242	△19
敷金・保証金・建設協力金の支出	△738	△707
敷金・保証金・建設協力金の回収による収入	861	796
貸付金の回収による収入	175	-
その他投資に関する収入及び支出(△は支出)	△70	△300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,213	△7,143

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成24年9月1日 至 平成25年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年9月1日 至 平成26年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	5,000	-
長期借入金の返済による支出	△2,409	△4,013
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△906	△908
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,683	△4,923
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,100	352
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,091	△1,248
現金及び現金同等物の期首残高	19,000	17,908
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	1,261
現金及び現金同等物の期末残高	17,908	17,921

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数 7社

SAIZERIYA AUSTRALIA PTY. LTD.
上海薩莉亜餐飲有限公司
広州薩莉亜餐飲有限公司
台湾薩莉亜餐飲股份有限公司
北京薩莉亜餐飲管理有限公司
HONG KONG SAIZERIYA CO. LIMITED
SINGAPORE SAIZERIYA PTE. LTD.

第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であった、台湾薩莉亜餐飲股份有限公司、北京薩莉亜餐飲管理有限公司、HONG KONG SAIZERIYA CO. LIMITED及びSINGAPORE SAIZERIYA PTE. LTD. は、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 非連結子会社の名称等

㈱アダツアーズジャパン
広州サイゼリヤ食品有限公司
(連結の範囲から除いた理由)

非連結子会社の総資産、売上高、当期純損益及び利益剰余金等は、いずれも連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないためであります。

2. 持分法の適用に関する事項

(1) 持分法適用の関連会社数

該当事項はありません。

(2) 持分法を適用していない非連結子会社

㈱アダツアーズジャパン
広州サイゼリヤ食品有限公司
(持分法の範囲から除いた理由)

当期純損益(持分に見合う額)及び利益剰余金(持分に見合う額)等からみて、持分法の対象から除いても連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないためであります。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

SAIZERIYA AUSTRALIA PTY. LTD. 及びSINGAPORE SAIZERIYA PTE. LTD. の決算日は、連結決算日と一致しております。上海薩莉亜餐飲有限公司、広州薩莉亜餐飲有限公司、台湾薩莉亜餐飲股份有限公司、北京薩莉亜餐飲管理有限公司及びHONG KONG SAIZERIYA CO. LIMITEDの決算日は、12月31日であり、連結財務諸表の作成に当たっては、6月30日に仮決算を行い、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、外食事業を営んでおり、国内においては当社が食材の製造及び店舗運営を、海外では、豪州においては主に当社で使用する食材の製造等を、中国(上海市、広州市、北京市)、台湾、香港、シンガポールにおいては店舗運営を、現地法人がそれぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、外食事業を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「豪州」及び「アジア」の3つを報告セグメントとしております。

なお、第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であった台湾薩莉亜餐飲股份有限公司、北京薩莉亜餐飲管理有限公司、HONG KONG SAIZERIYA CO. LIMITED及びSINGAPORE SAIZERIYA PTE. LTD. を連結範囲に含めたため、報告セグメントを「中国」から「アジア」に名称変更しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続きに準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益(のれん償却前)ベースの数値であります。
セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自平成24年9月1日至平成25年8月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	豪州	アジア	計	
売上高					
外部顧客への売上高	102,263	216	7,948	110,428	110,428
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3,837	—	3,837	3,837
計	102,263	4,053	7,948	114,265	114,265
セグメント利益	7,040	59	433	7,532	7,532
セグメント資産	81,874	7,700	4,492	94,067	94,067
その他の項目					
減価償却費	4,172	316	485	4,974	4,974
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	10,103	44	875	11,022	11,022

当連結会計年度(自平成25年9月1日至平成26年8月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	豪州	アジア	計	
売上高					
外部顧客への売上高	105,049	94	20,473	125,618	125,618
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4,326	—	4,326	4,326
計	105,049	4,420	20,473	129,944	129,944
セグメント利益	3,849	166	1,500	5,516	5,516
セグメント資産	78,344	8,664	9,266	96,275	96,275
その他の項目					
減価償却費	4,564	277	1,154	5,996	5,996
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	4,434	21	2,347	6,803	6,803

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	114,265	129,944
セグメント間取引消去	△3,837	△4,326
連結財務諸表の売上高	110,428	125,618

(単位:百万円)

営業利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	7,532	5,516
セグメント間取引消去	14	△27
連結財務諸表の営業利益	7,547	5,488

(単位:百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	94,067	96,275
セグメント間取引消去	△6,595	△9,051
連結財務諸表の資産合計	87,472	87,224

b. 関連情報

当連結会計年度(自平成25年9月1日至平成26年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	豪州	アジア	合計
34,082	3,886	4,087	42,055

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%を占める特定の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

当連結会計年度(自平成25年9月1日至平成26年8月31日)

(単位:百万円)

	日本	豪州	アジア	合計
減損損失	2,527	198	244	2,970

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

当連結会計年度(自平成25年9月1日至平成26年8月31日)

該当事項はありません。

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

当連結会計年度(自平成25年9月1日至平成26年8月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自平成24年9月1日 至平成25年8月31日)	当連結会計年度 (自平成25年9月1日 至平成26年8月31日)
1株当たり純資産額	1,331.86円	1,356.65円
1株当たり当期純利益金額	78.06円	23.65円

- (注) 1. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。
2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

	前連結会計年度 (自平成24年9月1日 至平成25年8月31日)	当連結会計年度 (自平成25年9月1日 至平成26年8月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(百万円)	3,937	1,193
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(百万円)	3,937	1,193
期中平均株式数(千株)	50,446	50,446
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第2-1回新株予約権560個。 第2-2回新株予約権668個。 第3-1回新株予約権240個。 第3-2回新株予約権881個。 第4-1回新株予約権120個。 第4-2回新株予約権1,162個。 第5-1回新株予約権300個。 第5-2回新株予約権1,667個。 第6-1回新株予約権900個。 第6-2回新株予約権4,694個。	第2-1回新株予約権450個。 第2-2回新株予約権628個。 第3-1回新株予約権150個。 第3-2回新株予約権841個。 第4-1回新株予約権120個。 第4-2回新株予約権1,122個。 第5-1回新株予約権300個。 第5-2回新株予約権1,642個。 第6-1回新株予約権900個。 第6-2回新株予約権4,631個。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年8月31日)	当事業年度 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,765	11,031
テナント未収入金	1,254	1,410
商品及び製品	4,178	4,424
原材料及び貯蔵品	682	688
前払費用	1,668	1,771
繰延税金資産	599	467
その他	491	471
流動資産合計	22,640	20,266
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	22,334	21,809
構築物(純額)	586	453
機械及び装置(純額)	1,838	1,724
車両運搬具(純額)	26	16
工具、器具及び備品(純額)	3,546	2,910
土地	6,759	6,759
リース資産(純額)	141	132
建設仮勘定	702	276
有形固定資産合計	35,936	34,082
無形固定資産		
借地権	48	48
商標権	1	1
ソフトウェア	488	343
電話加入権	57	57
その他	0	5
無形固定資産合計	596	455
投資その他の資産		
投資有価証券	445	486
関係会社株式	8,454	8,942
出資金	0	0
長期前払費用	453	360
繰延税金資産	1,022	1,582
敷金及び保証金	8,419	8,778
建設協力金	2,174	1,718
店舗賃借仮勘定	205	146
長期預金	1,500	1,500
その他	40	38
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	22,701	23,540
固定資産合計	59,234	58,077
資産合計	81,874	78,344

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成25年8月31日)	当事業年度 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,115	4,331
1年内返済予定の長期借入金	4,013	2,078
リース債務	8	8
未払金	2,813	2,984
未払費用	154	155
未払法人税等	1,185	373
未払消費税等	—	1,149
預り金	383	397
前受収益	3	3
賞与引当金	1,057	1,052
株主優待引当金	227	208
設備関係未払金	215	217
デリバティブ負債	71	13
資産除去債務	21	10
その他	24	93
流動負債合計	14,294	13,078
固定負債		
長期借入金	2,078	—
リース債務	139	131
資産除去債務	2,495	2,626
その他	33	379
固定負債合計	4,747	3,137
負債合計	19,041	16,215
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,612	8,612
資本剰余金		
資本準備金	9,007	9,007
資本剰余金合計	9,007	9,007
利益剰余金		
利益準備金	2,153	2,153
その他利益剰余金		
別途積立金	41,170	43,770
繰越利益剰余金	3,979	606
利益剰余金合計	47,302	46,529
自己株式	△2,211	△2,212
株主資本合計	62,710	61,936
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△35	△13
評価・換算差額等合計	△35	△13
新株予約権	157	205
純資産合計	62,832	62,128
負債純資産合計	81,874	78,344

(2) 損益計算書

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 平成24年9月1日 至 平成25年8月31日)	当事業年度 (自 平成25年9月1日 至 平成26年8月31日)
売上高	102,263	105,049
売上原価		
商品及び製品期首たな卸高	3,164	4,178
当期商品仕入高	25,224	27,196
当期製品製造原価	11,281	11,912
合計	39,670	43,287
他勘定振替高	259	266
商品及び製品期末たな卸高	4,178	4,424
売上原価合計	35,232	38,596
売上総利益	67,030	66,453
販売費及び一般管理費	59,990	62,604
営業利益	7,040	3,849
営業外収益		
受取利息	67	74
有価証券利息	7	10
為替差益	635	-
補助金収入	19	104
デリバティブ評価益	-	57
その他	18	10
営業外収益合計	748	257
営業外費用		
支払利息	11	11
為替差損	-	2
デリバティブ評価損	20	-
営業外費用合計	31	13
経常利益	7,756	4,092
特別利益		
補償金収入	36	-
特別利益合計	36	-
特別損失		
減損損失	637	2,527
固定資産除却損	123	126
関係会社株式評価損	540	-
店舗閉店損失	106	55
特別損失合計	1,408	2,709
税引前当期純利益	6,384	1,382
法人税、住民税及び事業税	3,080	1,696
法人税等調整額	△147	△447
法人税等合計	2,933	1,248
当期純利益	3,450	134

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 平成24年9月1日 至 平成25年8月31日)

(単位:百万円)

	株主資本								株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式		
		資本準備金	資本剰余 金合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余 金合計	
					別途積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	8,612	9,007	9,007	2,153	36,970	5,636	44,759	△2,211	60,168
当期変動額									
別途積立金の積立					4,200	△4,200	—		—
剰余金の配当						△908	△908		△908
当期純利益						3,450	3,450		3,450
自己株式の取得								△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	—	—	4,200	△1,657	2,542	△0	2,542
当期末残高	8,612	9,007	9,007	2,153	41,170	3,979	47,302	△2,211	62,710

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
当期首残高	△61	△61	115	60,223
当期変動額				
別途積立金の積立				—
剰余金の配当				△908
当期純利益				3,450
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	25	25	41	67
当期変動額合計	25	25	41	2,609
当期末残高	△35	△35	157	62,832

当事業年度(自平成25年9月1日至平成26年8月31日)

(単位:百万円)

	株主資本								自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			利益剰余 金合計			
		資本準備金	資本剰余 金合計	利益準備金	その他利益剰余金					
					別途積立金	繰越利益 剰余金				
当期首残高	8,612	9,007	9,007	2,153	41,170	3,979	47,302	△2,211	62,710	
当期変動額										
別途積立金の積立					2,600	△2,600	-		-	
剰余金の配当						△908	△908		△908	
当期純利益						134	134		134	
自己株式の取得								△0	△0	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)										
当期変動額合計	-	-	-	-	2,600	△3,373	△773	△0	△774	
当期末残高	8,612	9,007	9,007	2,153	43,770	606	46,529	△2,212	61,936	

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
当期首残高	△35	△35	157	62,832
当期変動額				
別途積立金の積立				-
剰余金の配当				△908
当期純利益				134
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	21	21	48	70
当期変動額合計	21	21	48	△704
当期末残高	△13	△13	205	62,128

(4) 個別財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

6. その他

該当事項はありません。